

授業計画書（シラバス）

| | | | | | |
|-----|--------|----------|------------|------|--------|
| 教科名 | ガラス工芸史 | 曜日 時間 | 9:00-16:00 | 担当者名 | 土田 ルリ子 |
|-----|--------|----------|------------|------|--------|

| | 前期指導演 | | 後期指導演 | |
|----------------|---|------|-------------|-----|
| | 年間授業日 (3回) | 5月 | | 10月 |
| | 6月 | | 11月 | |
| | 7月 | | 12月 | |
| | 8月 | 28 | 1月 | |
| | 9月 | 9 24 | 2月 | |
| 方授業 法業 | (講義) ・ 実技) | | (講義 ・ 実技) | |
| 授業 内 容 | 世界のガラスについて、古代から現代まで、およそ4400年に渡る歴史や作品を幅広く知っていただく授業です。ガラスと言えば透明な素材を連想する方が多いですが、歴史を紐解けば、透明へと移行するのは紀元前後のこと、吹きガラスが発明された以降のことになります。ガラスの歴史上は不透明な時代が多くありました。また、今に伝わるガラスの技法は、接着を除き、ほとんど基本的なものは2000年前までに発明されています。温故知新、古きを温ねて新しきを知る、この授業がそんな機会になればと思っています。3日中2日間は研究所で座学、もう1日はガラス美術館での展覧会の見学と座学を取り合わせて行います。 | | | |
| 到達 目標 | ガラスの歴史を知ることが、現代に生きる作家のヒントになればと考えて行います。この授業そのものは聴講していただくのみですが、皆さんの創作の中に到達点を見出せるようになれば幸いです。 | | | |
| 成績 基準 評価 | 成績評価の基準は以下の通りです。 積極的な授業への参加／意欲的な学習態度／課題の完成度／提出期限の厳守／授業の目標水準の到達／個人の成長度／出席状況など。 | | | |
| 留意 事項 | 授業中に他の授業の課題などを行わないようにしてください。居眠りをしないこと。 | | | |